

科目名	韓国語1			ナンバリング	FLP631	授業形態	演習
対象学年	2 年	開講時期	前期	科目分類	選択	単位数	1 単位
代表教員	金世煥	担当教員					

授業の概要	本講義では、韓国語(ハングル)の読み書きや発音方法、そして文章の構成など、韓国語を話せるための基礎を学ぶことを目標とする。実践的に活用できる代表的な文章を中心に学習していくことで、書ける韓国語ではなく、話せる韓国語を目指して進めていくことにする。						
到達目標	1.韓国語の基礎構造を理解する。 2.子音や母音、そしてパッチムなどの発音を学び、基本的な韓国語を話すことができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	毎週に学んだ韓国語を復習し、確実に身に付けるようにする。韓国語関連CDを聞いて予習しておくことを勧める。						
ディプロマポリシーとの関連	【いわき明星大学のディプロマポリシー】						
	○	1. 幅広い教養と専門分野についての十分な知識を身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 人々の多様な考えやニーズを理解し、他者と円滑なコミュニケーションをとることができる。					
		3. 広い視野と判断力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態にも適切に対処することができる。					
		4. 地域社会の一員としての自覚をもち、地域に貢献できる社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
①韓国語の子音や母音、そしてパッチムなどを発音することができる。 ②韓国語の子音や母音、そしてパッチムなどが読み書きできる。 ③韓国語の文章を理解し、基本的な挨拶や日常生活でよく使われている韓国語をいくつか話すことができる。	①韓国語の子音や母音、そしてパッチムなどを正確に発音することができ、子音や母音、そしてパッチムなどが正確に読み書きできる。 ②韓国語の文章を理解し、簡単な挨拶や日常生活でよく使われている韓国語を状況別に分けていくつか話すことができる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート	○	○			○		30%
授業態度・授業への参加			○	○			20%
プレゼンテーション	○	○			○		50%

課題、評価のフィードバック	講義の後半に、講義内容に関する振り返りを行う。最終回に韓国語で自己紹介プレゼンテーションを行い、評価する。
---------------	---

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	イントロダクション	授業の目的や到達目標、授業内容について解説する。	
	第2回	韓国語と日本語の文法	韓国語と日本語の文法について解説する。	
	第3回	韓国語の発音 -母音①-	韓国の母音について解説する。	
	第4回	韓国語の発音 -子音①-	韓国の子音について解説する。	
	第5回	韓国語の発音 -母音②-	韓国の母音について解説する。	
	第6回	韓国語の発音 -子音②-	韓国の子音について解説する。	
	第7回	韓国語の発音 -二重母音①-	韓国の二重母音について解説する。	
	第8回	韓国語の発音 -パッチム①-	韓国のパッチムについて解説する。	
	第9回	韓国語の発音 -二重母音②-	韓国の二重母音について解説する。	
	第10回	韓国語の発音 -パッチム②-	韓国のパッチムについて解説する。	
	第11回	母音、子音、二重母音、パッチムの復習	母音、子音、二重母音、パッチムの発音や書き方を確認する。	
	第12回	韓国語の日常会話の発音練習	日常生活でよく使われている韓国語の表現方法と発音について解説する。	
	第13回	韓国語の日常会話の書き方練習	日常生活でよく使われている韓国語文章の書き方について解説する。	
	第14回	韓国語で自己紹介文の作成	韓国語での自己紹介文の作成について解説する。	
	第15回	自己紹介プレゼンテーションと評価	韓国語で自己紹介のプレゼンテーションを行い、評価する。	
	試験	試験は実施しない。		
授業の進め方		参加型授業を目標に、講義中に質疑応答をしながら進めていく。		
授業外学習の指示		講義の内容を復習する。不明な点がある場合は教員に質問すること。 （授業外学習時間： 毎週 90 分）		

教科書	教科書は使用しない。随時、資料を配付する。
参考書	特になし
参考URLなど	特になし
その他	「韓国語2」と「韓国の社会と文化」を履修することが望ましい。

ループリック

評価規準 項目／観点		レベル高 ← 評価基準 → レベル低		
		例：模範的、レベル3	例：標準、合格、レベル2	例：要改善、不合格、レベル1
1	授業態度	遅刻、退席はなく、居眠りや私語をしていない。積極的に発言や質問をしている。	遅刻、退席はほとんどなく、居眠りや私語はほとんど見られない。発言や質問はそれほど多くない。	遅刻、退席、居眠りや私語が多い。
2	プレゼンテーション	聴き手を意識した話し方や、アイコンタクトの取り方に工夫が見られる。内容の整理がされており、根拠のある主張ができています。	話し方や、アイコンタクトの取り方を意識している。内容は伝わるが、主張にやや論理性が不足している。	発表ができない。またはずっと原稿を見ているなど、聴き手を意識した話し方になっておらず、話の内容が伝わらない。
3	レポートの作成	課題の条件（字数、テーマ、体裁など）が満たされている。背景、問い、目的が明示されており、主張を裏付ける論拠が整理されている。	課題の条件（字数、テーマ、体裁など）が満たされている。背景、問い、目的の明示はされているが、やや曖昧である。	提出がない、もしくは課題の条件（字数、テーマ、体裁など）を満たしていない。
4				
5				
6				
7				